

ドする可能性を指摘されていますが、全く同感です。

一病息災 一病息災

腰痛

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

はじめに

多くの人は、何らかの形で、腰痛を経験したことがあると思います。実際、腰痛は、平成二十二年国民生活基礎調査によると、男性が訴える最も多い症状であり(女性では二番目に多い)、年齢とともに、確実に増える症状です。

では、どうして、これほど多くの人が、腰痛に悩まされるのでしょうか。それは、進化の過程において、人間が二本足で立つようになったことに起因しており、宿命とも言えます。つまり、四本足の生活では、背骨は地面と水平であり、背骨に大きなストレスが加わることはありませんでした。二本足で立つようになると、背骨は地面と垂直となり、縦方向に大きなストレスが加わるようになったのです。

なかでも、腰は、上半身の重みを支える大切な部位で、重い荷物を持ちたり、激しい運動を行うことが、腰にさらなる負荷をかけ、その過度の負担に耐え切れなくなると、腰痛を発症す

背骨の構造

背骨は身体の中心にあり、椎骨という骨が、積み重ねられて形成され、上から、頸椎(7個)、胸椎(12個)、腰椎(5個)、仙椎(5個)、尾椎(3〜6個)に分けられます。成人においては、5個の仙椎がくつき仙骨となり、3〜6個の尾椎がくつき尾骨となります。

また椎骨と椎骨の間には、衝撃を吸収するためのクッションの役割を果たす椎間板があり、上下の椎骨どうしは、大きくずれないように、外側を強力な靱帯で補強されています。

腰痛の分類

当然のことながら、腰痛とは、腰の付近の痛みをさしますが、腰痛は、起こしている部位や発症からの経過、発症様式の違により分けられます。

発症からの経過による分類では、急性と慢性の二種類に分けられます。いわゆる、「ぎっくり腰」のように、痛めた瞬間が分かるような場合が、急性腰痛で、痛みの発症が明確でなく、なんとなく、だんだんと痛いような場合を慢性腰痛と言います。

慢性腰痛の場合は、ある程度、日常生活や運動を行えますが、ちょっとしたことが引き金となり、急性に増悪することがあります。

また、身体の動きによる発症様式の違いから、腰痛を分けて考えることもあります。椅子から立ち上がる、後方にのけぞるなど、身体を伸ばす動作で痛みを生じたり、強くなる場合が伸展型腰痛で、身体を曲げる動作を行った際に痛みを生じる場合を屈曲型腰痛と言います。

腰痛と光線療法

光線療法は、患部である腰に直接照射する必要がありますが、急性、慢性の双方に有効で、赤外線による消炎鎮痛効果により、痛みは確実に軽減します。なお、急性腰痛の場合は、痛みがひく

までに、長時間の照射が必要となる場合があります。

また、腰痛は、様々な原因で引き起こされますが、背骨を形成している椎骨自体がもろくなることによって骨粗しょう症、変形や圧迫骨折を引き起こし、腰痛を生じることがあります。

この場合、骨を丈夫にする、つまり、骨密度を増やす必要がありますが、このためには、カルシウムとビタミンDが必要となります。カルシウムは経口摂取できますが、自然の形でビタミンDを増やすには、皮膚に日光(紫外線を当てて、ビタミンDの合成を促さなければなりません。その点からも、サナモアは、理にかなった治療法であり、平たく言えば、痛みを和らげるために照射しているうちに、骨も丈夫にしてしまおうといったことになるのです。

腰痛でお悩みの方には、サナモア光線療法は、痛みに対応するのみでなく、骨も丈夫にする効果があるという認識を持って、治療に励んでいただきたいと思います。

サ/ナ/モ/ア/便/り



vol.49 宇都宮 正範

第十七期

サナモア光線治療師
養成講座のお知らせ

前号でお知らせしましたように、本年度も第十七期サナモア光線治療師養成講座を東京にて開講します。日程等は下記の通りです。詳細につきましては、サナモア光線治療院(〇三―五七五九―三七一〇)までお問い合わせ下さい。

開講日程

6月28日(木)・29日(金)・30日(土)

講座内容

- (1)医学総論・関係法規
- (2)サナモア光線療法の基礎と生物学的作用
- (3)光線治療器のメンテナンス法
- (4)ルーフ式・マルチアーク療法の実践
- (5)開院のための準備

資格取得者の特典

- (1)治療院を開業する際の指導
- (2)サナモアの名称使用
- (3)サナモア販売における代理店資格の取得
- (4)季刊紙「健康と光線」への治験例報告

申し込みの締め切り：6月16日(土)

第三十六回

「光と熱研究会」
のお知らせ

医療に関連した話題の講演や治験例の報告を中心とした研究会を開催していますので、一般のご愛用者の方も是非ご参加下さい。なお参加は無料です。

日 時：四月二十一日(土)
午後二時三〇分

場 所：サナモア光線治療院
三階会議室

治療院&治療師紹介

すずめ光線治療院

川田 滋子治療師(十六期)

電話：〇二八―六五三―六一二六
住所：栃木県宇都宮市茂原
一三―十七



◆ 募 集 ◆

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、サナモア光線療法の普及にご協力頂ける方、治療院の開業を検討なさりたい方は、お問い合わせください

サナモア光線治療院

〒153-0063

東京都目黒区目黒1-23-11

TEL (03) 5759-3710

FAX (03) 5759-3720

交通：JR宇都宮線雀宮駅より2km、旧国道4号線、バス停・茂原観音入口下車 バス停前 一言：平成二十二年の夏、主人が突然、原因不明の全身痛を訴え、手足の関節が動かなくなっただけ、整形外科を受診するも、消炎鎮痛剤を処方されただけで痛みは全く消えず。次に回された内科でも、ステロイド剤の処方のみで、途方にふけている時、知人である加藤先生からサナモア光線療法のことを聞き、二人で、これにかけてみようかと決心し、お世話になりました。

治療を始めてから、痛みは少しずつ軽くなり、三か月が経過した頃には、ふつうに日常生活ができるまでに改善し、今では、趣味のゴルフを楽しみ、ボランティアで皆さんの手伝いをするまでに回復しました。加藤先生には、心から感謝しております。この経験をもとに、私はサナモア光線療法を深く勉強しようと思いに決め、治療師養成講座を受講しました。講義を通じて、サナモアのもつ自然治癒力のすばらしさを確信し、病気で苦しんでいる方々のお役に立てればと思い、微力ながら、光線治療院の開院を決めた次第です。

治験例報告

慢性肝炎による自覚症状が

サナモアで改善

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告

TEL 〇七八―三三―三三八

症例 57歳 男性 自営業

症状 三年前、突然、全身倦怠感と食欲低下を認め、好きなお酒にも手を出せず、むくみも見られたことから、近医を受診したところ、血液検査を行い、慢性肝炎と診断。この際、医師から、この病気は、根治が難しく、長い目で見て、食事療法と心身の養生を行い、病気と付き合っていくことが大事との説明を受けたが、妻の勧めで、サナモア光線療法での治療を希望されて来所した。

療法経過 治療はBDカーボンで、臍を中心とした腹部全体を20分、集光器を使用し、右上腹部を30分、右側腹部を20分、腰部を30分、背部を20分照射。次に、カーボンをABの組み合わせ

せに変え、足裏を20分、ふくらはぎを20分、膝を10分、それぞれ照射した。翌日からの自宅での治療は、同様の方法にて、朝と晩の一日二回、根気よく照射することを指示した。

治療を開始して二週間が過ぎた頃から、徐々に、全身倦怠および疲労感は、軽くなり、食欲もでて、睡眠も十分にとれるように感じ、三か月後に行った定期受診では、血液検査値の改善を認め、肝機能の回復も順調と説明された。今回の結果は、養生と食事療法を心がけながら、毎日、指導されたようにサナモア光線療法を続けた成果であることを心に刻み、健康を取り戻せた喜びを感じながら、仕事に励まれている。

治験例報告

サナモアで腰椎圧迫骨折を治療

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子(旧姓前田)氏報告

TEL 〇九一―五八一―〇三九
五七二―一五七三

症例 78歳 女性

症状 サナモア愛用者。数か月間、自宅で重い荷物を持った際、尻もちをつき、腰椎の圧迫骨折を起こし、入院加療を受け

ていたが、退院後は、サナモア光線療法で治療したいと相談を受けた。

療法経過 治療は、BCカーボンで、患部である腰部を、気持ち

サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せ掛けて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持てませんので呉々もご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

株東京光線療法研究所

ちのいい範囲で、できるだけ長時間照射するよう指示したが、数日後、痛みが強いので、どうしたらよいかと相談されたため、BBカーボンへの変更を指示。さらに数日後、照射時間の問い合わせを受けたので、とにかく、今は、照射時間を制限せず、何時間でもよいと説明した。その後、痛みが和らいだ段

階で、骨の強化をはかるために、BCカーボンを使用し、患部以外の背部、足裏なども、適宜照射するように指示。治療を始めてから八か月後の報告では、腰痛はすっかりよくなり、遠出ができるまでに改善したとのことと、「光線・光線・また光線」と、とても元気な声で話されていた。

治療例報告

小児の顔面神経麻痺に対する

サナモア治療経験

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

TEL 〇四四一七三二五〇六七

症例 9歳 男児

症状 平成23年4月15日、サナモア愛用者の父親に連れられて来院された時には、顔面が變形して、顔色も不良で、かなりつらそうな様子を呈していたが、この際、軽度の鼻炎と中耳炎も認められたため、合わせて治療を開始することとした。

療法経過 治療は、A Bカーボンを使用し、四台の治療器で施行。初め側臥位にて、顔面、腰部、膝を15分照射、次に、後頭部、腹部、足裏を15分照射した。さらに体位を仰臥位として、左耳側面、右側腹部、左膝側面を15分、右耳側面、左側腹部、右膝側面を15分照射した。当院では、三日間治療を続けたが、経過が

良好であったため、それ以後は、

自宅での治療とした。

治療を開始してから、早期に病状は改善し、6月15日に、再度来院された時には、顔面神経麻痺は、ほぼ完治しており、父親もほっとされた様子であった。

サナモア光線療法
愛用者の声

続・私のサナモア

光線体験記

さまざま好転反応を

乗り越えてく

盛岡市 大木 まゆみ様

平成22年12月7日、サナモア全身照射初日。規定の時間の照射に耐えられず、全身に火傷したかのような熱さを感じる。夜、黒ビールのような色の異臭を放つ尿がでた。手足は、冷たいままでした。

翌朝、両目が真っ赤に充血して、目やにで目が開きにくい。鼻からは、黄色がかかった異臭をともなった鼻汁。鼻腔内にできものができ、膿が分泌。真っ黒い便もでたが、このような症状は、その後約一か月続いた。

▼平成23年1月、顔面には、たくさんの盛り上がった湿疹がで、一部は硬結。とくに頸部の湿疹は、かゆみが強く、夜間もかゆみが続く。

▼2月、足全体のあちこちから

全自動光線治療器

はつらつさんと
ジョイントカーボン

サナモアはカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そのため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射にはご不便をお掛けしてきまして、この点を改良したのが全

に湿疹がでて、かゆみが強い。かかとやつま先に痛み。夜間は、足のしびれと痛みが続く。

▼3月、この頃、サナモア照射中は体のいたるところがピンポイントで、火傷のように熱く感じる。目の奥の痛みが強くなる。これまで、夜間、トイレに三回は起きていたが、この頃から、夜は一度も覚醒すること

自動光線治療器ははつらつさんで、照射時間は5分刻みで60分まで設定でき、カーボンの消耗に合わせてジョイントでさるサナモアカーボンをつないでおけば、自動的にカーボンを送り安定した光線を放射します。

*

なお、はつらつさんご使用の際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。使用上の注意は、「はつらつさん取扱説明書」をご覧ください。

なく、熟睡できるようになる。

▼4月、九か月ぶりに仕事に復帰することができたが、耳の奥の痛みが強い。外耳周囲や耳介付近に湿疹が認められ、膿がでる。

▼5月、全身の照射時間が15分になる。腕を中心に湿疹が増え、手掌のかゆみが強くなる。

(六ページにつづく)

(五ページからつづく)

▼6月、背部、臀部を中心として、湿疹が増え、かゆみが強くなる。

▼7月、この頃から、常を感じていた焦燥感やイライラは、少しずつ減っていることに気がつく。

▼8月、昨年の夏の30度を越す猛暑にも負けず、夏バテもせずに乗り切ることができた。

▼9月、照射後に少し汗をかくようになる。照射後に認めたのぼせ感も消失。体重は62kgから57kgまで低下。靴のサイズも15cm小さくなり、洋服のサイズは13号から9号になる。

▼10月、全身照射中にピンポイントに感じていた熱さがなくなり、整体治療の際の痛みも消失。全身に見られた湿疹がほとんど消えて、かゆみもなく、気持ち的にとっても穏やかとなる。

▼11月、足の冷えがなくなり、痛み、かゆみ、しびれも消失。

▼12月、照射時間が20分となる。

照射中は、心地よい温かさで汗も十分かけるようになる。また、照射中に、背部の骨が、自然にボキッと動いてすっきりする。

これまでの私の体に起きた好転反応についての記述は、すべて本当のことです。五十年以上にわたり続けてきた薬物治療が、かえって私自身の体を壊していた事実を、身をもって体験しました。そして、そこから解放される術が、サナモア光線療法と整体治療にあったのです。自分の体には、自然治癒力があり、その力を活性化するのがサナモアであることを証明するために、私は、多くの病気を患い、最後の最後、ぎりぎりのところで、サナモアとの出会いから、本当の健康的な自分を取り戻すことができました。

やすらぎ整体院の、のり子先生、しん先生には、心から感謝の気持ちでいっぱいです。今の私は、うっとおしい着るみ

脱ぎ、とてもすっきりとした状態です。今では、好転反応が出て、冷静に受け止めることができ、不安も恐怖ありません。

私の体がどんどん好転していくことで、周りの家族は、本当に明るくなりました。

これからの私の人生、自分の体に起きた経験を多くの人に知ってもらい、サナモア光線療法の輪が広がっていくことを願ってやみません。

サナモア体験記募集

サナモア光線協会では、皆様からの体験記を募集しております。なお掲載させて頂いた方には、薄謝を贈呈致します。

サナモア体験記の投稿について、メールでの募集も開始いたしました。下記のアドレスまで、お気軽にご投稿をお願い申し上げます。

メールアドレス：sanamore@hr.catv.ne.jp



サナモア光線協会

趣意書

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサナモア光線療法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、

一、季刊紙、「健康と光線」の発行

二、サナモア光線治療師の募集と育成の事業を行います。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

「健康と光線」の購読者を募集します。

また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会TEL(03) 三七九三―五二八二
三七二二―五三三二

(本紙の無断転用を禁止します。)